

「臍帯血血管内皮前駆細胞の培養法および解析法の開発」

研究責任者：東海大学医学部 基盤診療学系 先端医療科学
教授 氏名 浅原 孝之

連絡先／0463-93-1121 内線／2521

血管内皮前駆細胞（endothelial progenitor cell= EPC）は1997年、当該研究代表者の浅原により、成体骨髓内に由来 CD34 陽性細胞分画中の血管再生能を有する細胞として発見された（Asahara et al, 1997 Science）。その後、この細胞を採取して虚血性疾患など移植する血管再生療法が開発され、様々の治療成績が報告されている。一方で、糖尿病などの生活習慣病や老化などにより EPC の量および質の低下が確認され、治療細胞の量と質の管理が必要になっている。また、近年の研究で臍帯血 CD34 あるいは CD133 陽性細胞（EPC も含む造血幹細胞）が他家移植で臨床成績を上げており、免疫寛容作用も確認されている。

本研究では、将来の臍帯血由来細胞移植を想定して、臍帯血 EPC の培養法・解析法および細胞特性を研究開発する。

臨床研究実施期間 承認日 から 2021年 3月 31日

予定研究対象数 100例

